

## 〈地質関連の大学教室紹介〉

### 東北大学理学部地学科地学第一（地質学古生物学教室）

遅 沢 壮 一

地学科には他に地学第二（岩石鉱物鉱床学教室）と地理（地理学教室）があるが、4月1日から地質学古生物学教室は地理学教室とともに地圏環境科学科となる。地質学古生物学教室には現在3講座ある。以下の専門の紹介はそれぞれ各人が記した。

#### 地質学講座

大槻憲四郎助教授

応力場・変形の解析とプレートテクトニクス。

箕浦幸治助教授

一般地質学あるいは一般地球科学。

遅沢壮一助手

海嶺沈み込み、オフィオライト、島弧会合部に関連した、付加体の層位学研究。

佐々木理助手

化石群集層序学、気候変動学及び複素力学系に共通するフィールド。

#### 古生物学講座

斉藤常正教授

浮遊性有孔虫化石層序と古海洋。

石崎国熙助教授

微古生物学（貝形虫の古生物学的研究）。貝形虫に基づく環境解析；地質時代における底生動物の消長と動物地理区の変遷の要因の解明。

長谷川四郎助手

底生有孔虫の古生態。

海保邦夫助手

過去1億年における古環境変遷と大量絶滅。

#### 地史学講座

森 啓教授

層孔虫と珊瑚の分類と古環境解析。

中森亨助手

珊瑚礁における物質循環、第四紀気候変動と珊瑚礁、琉球層群の堆積学。

島本昌憲助手

貝類の殻体構造とコンキオリンのアミノ酸分析による系統進化、化石群集解析。

## 筑波大学地球科学系

久田 健一郎

地球科学系には、地質学と地理学・水文学の2つの分野があり、地質学分野はさらに教育課程上5つの専攻分野（地史学・古生物学、地層学、構造地質学、岩石学・鉱物学、鉱床学）に分かれています。以下の教官スタッフは、地史学・古生物学、地層学、構造地質学、岩石学・鉱物学、鉱床学のいずれかの分野を担当しています。

なお各自の研究テーマの紹介は、筑波大学研究者総覧によりました。

### 〈教授〉

猪 郷 久 義

日本列島・北米西海岸・東南アジアの中・古生代古生物地理

小笠原 憲四郎

新生代貝類化石の生層序と古生物地理、特に北方寒流系貝類の成立過程の解明

小 川 勇二郎

構造地質学・海底地質学の諸問題、特に泥質・砂質堆積物の変形特性及びプレート境界のテクトニクス

梶 原 良 道

鉱床形成における海洋フラックスの役割と地球環境規則

下 田 右

自然界での鉱物の生成と変化の過程を、結晶科学、結晶構造の面から研究している。

末 野 重 穂

高温高压における鉱物の結晶構造、組織及び組成の変化の研究、二次イオン質量分析計による個体内拡散の研究、酸化物高温超伝導の結晶構造及び組成の研究

野 田 浩 司

軟体動物及び生痕化石の系統分類、古地理、古環境解析

### 〈助教授〉

栗 田 敬

地球惑星内部物理学

小 林 洋 二

ホットリージョンテクトニクスが及ぼす地球環境表面付近の変動

指 田 勝 男

中・古生代放散虫の層序・分類学的研究

中 野 教 考

マグマ性・熱水性鉱床および有機鉱床の成因、同位体法を用いた地球科学

宮 野 敬

先カンブリア代地殻の成因、特に変成岩類の生成条件の推定

### 〈講師〉

円城寺 守

鉱石の組織、鉱物の化学組成、鉱物中の流体包有物などによる鉱床生成環境の研究

木 股 三 善

鉱物の生成原理と構成原理の構築と地球起源論

久 田 健一郎

地質時代の堆積盆の解析と復元

坂 本 尚 義

天然における元素の挙動の法則性と太陽系の歴史の研究, 2次イオン質量分析装置の開発と分析法の研究

〈助手〉

安 達 修 子

日本産古生代有孔虫および貝形虫化石に関する古生物学的研究

荒 川 洋 二

ストロンチウム (Sr) やネオジム (Nd) 同位体を用いた岩石の年代測定および同位体地質学

上 野 勝 美

古生代有孔虫類の古生物学的研究

菊 池 芳 文

新生代第三紀の古環境学的研究及び棘皮動物化石の分類学的研究

滝 沢 茂

プレート収束域における構造発達史とそのレオロジーの研究

西 村 はるみ

新生代放散虫の分類と進化および節足動物の化石化に関する古生物学的研究